**第１号議案**

**２０20年 度 事 業 報 告**

2020年6月5日付で書面にて実施した第17回通常総会で決定された2020年度事業計画に基づき実施した事業について下記のとおり報告いたします。

**Ⅰ．2020年度基本方針**

**１．消費者の信頼を得るための安全で安心な商品づくりをサポート**

**２．ＲＭＫマークおよび冷凍めんの価値向上と浸透活動**

**３．会員企業からの要望・意見の集約と協会施策への展開**

**４．業界全体のレベルアップのための教育・コミュニケーション活動**

**Ⅱ．組織の概況について**

**１．会員数**

 　本年は計115事業所(増減なし)となった。

（2021年３月３１日現在）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **区　　分** | **2019年度末** | **2020年度末** | **増　　減** |
| 一般会員 | Ａ　会員 | 17 | 17 | 0 |
| Ａ’会員 | 11 | 10 | 1組合減 |
| Ｂ　会員 | 17 | 17 | 0 |
| Ｃ　会員 | 44 | 44 | 　　　　　　0 |
| 特別会員 | 3 | 3 | 0 |
| 準 会 員 | 23 | 23 | 0 |
| **計** | **115** | **114** | **0** |

　　　　（注）　　　　【一般会員】

Ａ　会員：冷凍めんの製造を行わない全麺連傘下会員並びに組合員

Ａ’会員：冷凍めんの製造を行わない全麺連傘下会員

Ｂ　会員：冷凍めんの製造販売を行う全麺連傘下会員並びに組合員

　　　　　　　　　　　　　　　Ｃ　会員：その他、冷凍めんの製造販売を行う企業

　　　　　　　　　　　　　　　【特別会員】　理事会において定める企業

　　　　　　　　　　　　　　　【準会員】 冷凍めんに関する機器資材企業

**２．役員数**

理　事　１4名（会長１名、副会長５名、専務理事１名、理事7名）、監　事２名

**３．役員名**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（所属会社の役職名は2020年7月1日時点）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **役　　員　　名** | **氏　　　名** | **所　　　　　属** |
| 会　　　　長 | 　　 | テーブルマーク株式会社　代表取締役社長 |
| 副会長・会長代行 | 　　 | シマダヤ株式会社　常務取締役 |
| 副　会　長 | 　　 | 株式会社キンレイ　常務取締役 |
| 同 | 　　 | 全国製麺協同組合連合会　会長 |
| 同 | 　　　 | 日清製粉株式会社　常務取締役 |
| 同 | 　　　　 | 株式会社　　ニップン常務執行役員　製粉事業本部長 |
| 専務理事 | 　　　 | 一般社団法人 日本冷凍めん協会　常勤 |
| 理事・会計担当 | 　  | 東洋水産株式会社　低温食品部　部長 |
| 同 | 　　 | フレッシュ・フード・サービス株式会社　取締役社長 |
| 理　　　　事 | 　　 | 日清食品冷凍株式会社　代表取締役社長 |
| 同 | 　　　 | 西山製麺株式会社　代表取締役社長 |
| 同 | 　　 | マ・マーマカロニ株式会社　代表取締役社長 |
| 理事・相談役 | 　　　 | オリエンタル酵母工業株式会社　特別顧問 |
| 理事・相談役 | 　　 | 全国製麺協同組合連合会　前会長 |
| 監　　　事 | 　　　 | 日本リッチ株式会社　代表取締役社長 |
| 同 | 　　　　 | 堀敬祐公認会計士・税理士事務所　所長 |

**Ⅲ．主な会議、委員会等の開催と審議事項**＊コロナ禍で集まっての会議が実施できない状況の協会運営であったが、会長、副会長、関係理事で検討を行いながら、理事会に諮り進めてきた。

**１．通常総会**

第17回定時通常総会　2020年6月5日　書面決議

第１号議案から６号議案承認可決。

（１）第１号議案　2019年度事業報告の件

（２）第２号議案　2019年度決算報告の件

（３）第３号議案　2020年度事業計画報告の件

（４）第４号議案　2020年度収支予算報告の件

（５）第５号議案　役員改選の件

（６）第６号議案　監事改選の件

**２．理事会**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | **実施年日** | **内　　　　　　容** | **場　所** |
| 第 1 回 | 2020.4.16 | 1. 2020年度施策と予算の承認
 | 書面決議 |
| 1. 新規経理事務採用の承認
 |
| 1. 2019年冷凍めん生産食数調査報告
 |
| 第 2 回 | 2020.4.22 | 1. 2020年度第２回理事会5月20日開催を中止とし、改めて準備でき次第、書面決議にて実施する件の承認
2. 2020年度第17回通常総会6月10日開催を中止とし、改めて準備でき次第、書面にて実施する件の承認
 | 書面決議 |
| 第3回 | 2020.5.21 | ①　第17回通常総会の第1号議案～第6号議案の内容の確認及び承認 | 書面決議 |
| 第4回 | 2020.6.24 | 1. 代表理事として香川雅司氏を選任
2. 理事役職の決定
 | 書面決議 |
| 第5回 | 2020.7.29 | ①　令和2年豪雨災害への義援金100万円（日本赤十字社へ）承認 | 書面決議 |
| 第 6回 | 2020.10.7 | 1. 2020年度施策進捗報告:技術委員会及び情報委員会
2. 理事会の開催状況及び今後の会議スケジュール
 | 全麵連会館4F会議室よりリモート開催 |
| 第 7回 | 2021.1.27 | 1. 2020年度施策の報告：技術委員会及び情報委員会

②　2021年6月までの協会運営について③　専務理事報酬、経理担当報酬の見直しについて | 全麵連会館4F会議室よりリモート開催 |
| 第 8回 |  | 1. 2021年度施策及び予算案の承認
2. 日本赤十字社への寄付の承認
3. 専務理事報酬変更の実施時期について
 | 全麵連会館4F会議室よりリモート開催 |

**３．監査会**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **実施年日** | **内　　　容** | **場　所** |
| 2020.5.20 | 1. 2019年度事業報告、財産目録、貸借対照表および損益計算の監査
 | 全麺連　会館4Ｆ会議室 |
| 1. 2019年度事業活動の監査
 |

**４．技術委員会**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | **開催日** | **内　　　　容** | **場　所** |
| 第1回 | 2020.4.1 | 1. 2020年度の委員会活動方針と施策・予算案の確認と検討
 | 書面開催 |
| 1. コロナ禍でのRMK認定工場監査の検討・意見出し
 |
| 1. 賞味期限の年月表示の推奨・期限日設定の係数の意見出し
 |
| 1. eラーニング、勉強会等について
 |
| 第2回 | 2020.6.25 | 1. 2020年度RMK認定工場監査方法等の決定、書類、WEB、訪問
 | 書面開催 |
| 1. ＨＰ会員サイト書類類（文書類、手順書、記録表等）の改定　についての意見出し
 |
| 1. 今後の会議のやり方の検討:リモート会議検討
 |
| 1. WEB勉強会の意見出し
 |
| 1. その他
 |
| 第3回 | 2020.8.27 | ①RMK認定工場監査の進捗及び製品検査の実施状況 | リモート会議 |
| 1. 9/1WEB勉強会前期2~3月中止とした「冷凍めん工場の品質保証体制の指針」の改訂内容説明等
 |
| 1. eラーニング提供、冷凍めん工場コンテンツの制作状況について
 |
| 1. 「冷凍めんの表示に関する公正競争規約」策定作業、担当官が変わっての方向性の変更について
 |
| 1. その他
 |
| 工場監査打ち合わせ会 | 2021.1.25 | ◎技術委員会事務局と監査員リーダー（㈱知識経営研究所）との2020年度監査報告会及び来年度の監査について | リモート会議、 |
| 1. 2020年度工場監査進捗報告
 |
| 1. 書類、WEB監査についての報告と意見交換
 |
| 1. 2021年度の工場監査の方向性
 |
| 第4回 | 2021.2.3 | ◎2021年度の活動方針と具体的な施策検討 | リモート会議 |
| 1. RMK認定工場監査2021年度の方向性の検討
 |
| 1. 2021年度のeラーニングの進め方について
 |
| 1. その他
 |

**５．情報委員会**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | **開催日** | **内　　　　　　容** | **場　所** |
| 第1回 | 2020.4.1 | ◎2020年度活動方針と施策、予算について | 書面開催、4/1以降メールでの施策内容確認 |
| 1. 情報委員会施策予算案　について再度説明、確認、意見出し
 |
| 1. マイナビウーマンタイアップ記事について内容を再検討
 |
| 1. Nadiaサイトでの冷凍めん料理についての内容を、コロナ禍に対応した、主食から離れたものに再考する等の意見出し。
 |
| 1. 2019年市場規模調査（生産食数）結果の確認
 |
| 1. セミナー講師等検討、その他
 |
| 第2回 | 2020.9.3 | ◎2020年度施策の進捗報告・確認 | リモート会議 |
| 1. Nadiaサイトでの発信状況
 |
| 1. マイナビウーマンタイアップ記事の状況
 |
| 1. HPの動画レシピの進捗
 |
| 1. 新規レシピ開発の進捗
 |
| ⑤　その他 |
| 第3回 | 2020.11.18 | ◎2020年度施策の進捗報告及び次年度施策検討 | リモート会議 |
| 1. ＷＥＢプロモーションの進捗状況報告
 |
| 1. WEBセミナーの実施状況
 |
| 1. 業界紙への記事、広告掲載状況の報告
 |
| 1. その他
 |
| 第4回 | 2021.2.17 | ◎2020年度活動の報告及び2021年度活動検討、意見出し | リモート会議 |
| 1. WEBプロモーション等のアンケート結果等報告、
 |
| 1. 協会HP一般サイト、会員サイトのアクセス状況のまとめ報告
 |
| 1. 冷凍めんカレンダーのプレゼントキャンペーン報告
 |
| 1. 2021年度施策案に対する活動の方向性の検討
 |
| 1. 業界紙への掲載報告
 |

**Ⅳ．２０20年度基本方針および具体的な施策の実施内容**

**１．消費者の信頼を得るための安全で安心な商品づくりをサポート**

（１）工場監査の実施

①2020年度は、不適合となった工場はなかった。

＊監査結果Aランク42工場、Bランク2工場、Cランク0工場

②工場監査：訪問19、書類17、WEB8、2回工場監査1工場訪問

③コロナ禍での状況で、工場監査方法の変更をしたが、書類での工場監査は十分なやり取りができなかった点反省、次年度は基本訪問工場監査を決める。

（２）製品一斉検査事業について

①製品検査は、夏場と春先の2回実施した。

・一般生菌数、大腸菌群、Ｅ,Ｃｏｌｉ、黄色ブドウ球菌

・食味、形態、重量

＊2020年（7～8月）の検査結果

・42企業、86検体

・一般生菌数は1×103cfu/ｇ未満が65.1％、基準内ではあるがやや菌数の多い製品が30検体、極端に生菌数が多い製品はなかった。大腸菌群の陽性は12検体（生めん1検体）と、この夏の衛生状態は昨年より悪い状態であった。

・Ｅ,Ｃｏｌｉ、黄色ブドウ球菌はすべて陰性であった。

・重量に関しやや過重のものが2検体あった。

・異種めん混入が1検体

・食味、形態、及びサンプルへの異物混入なく、問題はなかった。

＊2021年（2～3月）の検査結果

・44企業、115検体

・一般生菌数は1×103cfu/ｇ未満が76.5％、基準内ではあるがやや菌数の多い製品が27検体（生めん3検体）、極端に生菌数が多い製品はなかったが、気温が高かった状況での衛生管理がやや不十分であったか。大腸菌群の陽性は4検体（生めん2検体）であった。昨年よりは衛生状態はやや悪かった。

・Ｅ,Ｃｏｌｉ、黄色ブドウ球菌はすべて陰性であった。

・内容量がやや過重製品が0検体であった。異物混入1検体。

・その他項目（包装、形態、色沢、風味、食味性組織、その他）は問題なかった。

＊各工場に対しての問題等は、すべてフィードバックした。

　　（３）ＲＭＫ認定工場等会員工場支援

①（公社）日本食品衛生協会研修、㈱ラキール農水省支援事業の研修等情報提供

＊研修実習はコロナ禍で出来なかった。

②eラーニングのRMK認定工場への提供（16工場）

＊冷凍めん業界（製麺業界）独自のコンテンツ制作を月1本、合計12本行った。

**２．ＲＭＫマークおよび冷凍めんの価値向上と浸透活動**

（１）WEBプロモーションを通じRMKマーク、協会品質保証システムの認知度アップ

①料理サイト「Nadia」で冷凍めんを使用しての変わり種（主食でない料理）の発信を5月から9月実施。好評につき、後半11~12月別規格で実施。

②マイナビウーマンタイアップ記事、SDGｓを切り口に10~11月発信

③新規レシピ12、レシピ動画制作とHP掲載、冷凍めんカレンダー制作

＊RMKマークの認知度がここ数年の中で一番高くなった。2018年14.1%、

2019年11.4％、2020年29.3％、6年継続してマイナビウーマンタイアップ掲載の成果か。

＊冷凍めん協会レシピコンテンツ全体のページビュー2019年5034PVが2020年11342PVと2020年は225％と倍以上になる。

＊コロナ禍の冷凍めんニーズの高まりにあわせて、冷凍めんレシピのニーズも高まっている。

＊在宅時間増による内食増において、冷凍めんの副食活用の可能性が感じられた。

＊詳しいアンケート結果等々、協会ホームページ会員サイトに掲載。

（２）協会HP施策

1. 冷凍めんカレンダー(2021年)の配布とプレゼント企画

＊毎年応募数が増加、2020年5,829件、2019年度よりも約1,500件増の応募がありました。（2019年度：4,374件）

1. 新規レシピ動画作成してのRMKマーク等の認知アップ

③会員への情報発信（コロナウイルス関連多く、発信数増）

（３）業界紙、関係団体協賛広告等での成果の上がる協会アピール

（４）調査

①冷凍麺生産者に対する調査2020年分（市場規模調査）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **業務用（万食）** | **市販用（万食）** | **合計（万食）** | **前年比（％）** |
| 2011年 | 95,491 | 56,222 | 151,714 | 108.0 |
| 2012年 | 93,043 | 76,644 | 169,687 | 111.8 |
| 2013年 | 99,338 | 73,285 | 172,624 | 101.7 |
| 2014年 | 97,393 | 63,075 | 160,468 | 93.0 |
| 2015年 | 98,397 | 69,993 | 168,390 | 104.9 |
| 2016年 | 93,819 | 79,016 | 172,835 | 102.6 |
| 2017年 | 96,743 | 82,624 | 179,368 | 103.7 |
| 2018年 | 95,628 | 85,713 | 181,342 | 101.1 |
| 2019年 | 97,051 | 88,171 | 185,223 | 102.1 |
| 2020年 | 88,349 | 112,594 | 200,943 | 108.5 |

＊2020年は41企業の協力を得た調査となった。

なお、本資料は農林水産省をはじめ報道関係の一般紙新聞社、食品産業界の新聞

および雑誌に配布しました。

　　　　＊品種別等詳細結果は協会ホームページ会員サイトに掲載

**３．会員企業からの要望・意見の集約と協会施策への展開**

（１）冷凍めんの表示に関する公正競争規約制定に向け消費者庁とやり取り実施

　　　＊担当官の交代により方向性の転換を検討

* 1. 食品ロス削減に向け協会としての取り組み

＊賞味期限年月表示の推奨を決定したが、コロナ禍で残る課題解決が進まず、発信は

延期。

**４．業界全体のレベルアップのための教育・コミュニケーション活動**

（１）勉強会

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **開催日** | **講演内容　・　講師** | **開催場所** | **参加数** |
| 第38回 | 2020.9.1 | ・第一講演（60分）　　　　　　　　　　　　　　　　　 ＜13：40～14：40＞食品企業を取り巻く環境の変化、冷凍めん工場の品質保証制度の指針改定の概要株式会社知識経営研究所　エグゼクティブコンサルタント　中村 博史氏[休憩　10分]・第二講演（60分） 　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　＜14：50～16：00＞冷凍めん工場の品質保証体制の指針改定の主なポイント、工場監査でよくあるコメント（2019年度） | WEB開催 | 24デバイス、45名 |

（２）セミナー

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **開催日** | **講演内容　・　講　師** | **開催場所** | **参加人数** |
| 2020.10.27 | 1. 『ニューノーマルにおけるDX(ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾄﾗﾝｽﾌｫｰﾒｰｼｮﾝ)と日本、デジタル発酵』 | WEB開催 | 56デバイス、166名（アーカイブス視聴35名） |
| 　筑波大学デジタルネイチャー開発研究センター センター長、准教授・JST CREST xDiversityプロジェクト研究代表。落合　陽一　氏 |

（３）研修旅行

**＊コロナ禍で中止**

**５．社会貢献**

　1）令和2年豪雨災害に対し100万円の寄付

　2）日本赤十字社の活動に対し300万円の寄付

＊2020年度より続く新型コロナウイルス感染症による医療危機、緊急事態宣言等による休業等の経営危機等へ、理事会、委員会で飲食店等への支援ができないか等々、討議、支援団体等についても調査をしましたが、最終的に日本赤十字社への寄付を決定いたしました。





**監　査　報　告**

一般社団法人 日本冷凍めん協会

会長代行　白潟　昌彦　殿

2020年4月1日から2021年3月31日までの事業年度の理事の職務執行、事業報告及び計算関係書類に関して、本監査報告を作成し、以下のとおり報告いたします。

１、監査方法及びその内容

私は理事との意思疎通を図り、情報収集及び監査の環境の整備に努めると共に、理事会に出席し、理事からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、法人事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に関わる事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係わる計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書）について検討いたしました。

２、監査結果

（1）事業報告等の監査結果

　一　事業報告は法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

　二　理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（2）計算関係書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

2021年5月19日

一般社団法人 日本冷凍めん協会

監　事　 宮 田　精 久

監　事　 堀 　　敬 祐

**第３号議案**

**２０２１年度事業計画**

昨年度より世界を揺るがしている新型コロナウイルス感染症の拡大は未だ収まりを見せず、先行き不透明な状況が続いております。政府は、緊急事態宣言を幾度も発令するなど、感染拡大の抑制に向け、国、自治体を挙げて懸命の対策が進められていますが、今後も感染者の増加、医療現場の逼迫が懸念されます。

外出自粛、在宅勤務、多くの飲食店やレジャー施設等の営業時間の短縮や休業・閉店に加え、大型イベントや会議等が中止となるなど、市民生活は一変しました。当たり前の日々の生活も儘ならない状態が続いており、今後順次接種が進められるワクチン接種の効果に期待を寄せているところです。

そのような中、食品業界に対しては食料の安定供給を継続するよう国からの指示も出ており、各会員企業におかれましては、新型コロナウイルス感染症に対処しつつ、食料を安定的に届ける使命を持って日々生産に当たっていることと思います。こうした中、冷凍めんの生産量は2020年度には20億食を突破し、業界からの供給期待は益々大きくなっているものと考えております。

このような状況下、今年度の事業計画としては、以下の重点施策を実施することで、さらに消費者の信頼を得られるよう安全で安心な商品づくりをサポートしてまいります。

現在、ＲＭＫ認定工場の77％強がFSSC22000等の第三者認証を取得しております。当協会として、これらの状況を受け、ＦＳＳＣ２２０００のバージョンアップにも対応した「冷凍めん工場の品質保証体制に関する指針」を改訂し、それに基づき工場監査を実施してまいります。

工場監査については、昨年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から、書面、及びWEBを活用することで監査を実施してまいりましたが、今年度は、感染予防の対策を徹底したうえで、現地訪問による工場監査を実施することを予定しております。

また、法・政省令改正や新型コロナウイルス感染症関連等、重要な情報提供を協会ホームページ会員サイトを通じて、今まで以上に積極的に発信してまいります。

全会員様向けWEBセミナーも2回実施いたします。さらに、コロナ禍でも実施できる教育ツールとして、冷凍めん業界（麺業界）独自のコンテンツとして、工場向け教育システム「eラーニング」の充実を図ってまいります。

次に、冷凍めんおよびＲＭＫマークの価値向上と浸透活動をＷＥＢプロモーション、ホームページを通じて行うことにより、コロナ禍における外出自粛下で消費が伸びた市販用冷凍めんの一層の定着を図ってまいります。

一方、大きく落ち込んだ、業務用冷凍めんの回復に向けては、コロナ禍が落ち着くであろう、年度後半にかけて、飲食店への支援の一助となるような広報活動を検討しております。

加えて、昨年に引き続き「冷凍めんの表示に関する公正競争規約」の制定に向けた取組みを継続するとともに、賞味期限年月表示および期限設定根拠係数の推奨を発信してまいります。

今年度、上記施策を実行してまいりますが、コロナ禍において環境は日々変化していくものと見ており、その変化を機敏にとらえ、リスクサイドから、スピード感を持って協会運営を進めてまいります。

関係各位のご支援・ご協力を引き続きお願い申し上げます。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以上

**◎２０２1年度基本方針および具体的な施策**

**１．消費者の信頼を得るための安全で安心な商品づくりをサポート**

**＊**「新型コロナウイルス感染症」蔓延状態に対応しての実施

（１）RMK認定工場の工場監査

　　＊基本、訪問工場監査を実施

1. コロナ感染防止策として抗原検査等を監査員に追加依頼
2. 2021年度ＲＭＫ認定44工場、2022年2月までに実施
3. 「冷凍めん工場の品質保証体制関する指針」の改訂版に基く工場監査

（２）製品検査

　 ＊例年通り実施

①年2回全RMK認定工場実施（必須）

②RMK認定工場ライン等の衛生状態確認、自工場検査精度確認へ利用

③公益社団法人日本食品衛生協会へ委託・公的機関検査結果として利用

* 1. ＲＭＫ認定工場等会員工場支援

＊集まっての研修等の中止に伴っての教育情報の提供

（３）工場支援

①eラーニングの全RMK認定工場への提供

②冷凍めん業（麺業界）界独自のコンテンツ作成、目標12本。視聴工場を増やす取り組み

③研修、実習等への支援

④その他、会員支援の検討

　**２．ＲＭＫマークおよび冷凍めんの価値向上と浸透活動**

（１）WEBプロモーションを通じてのRMKマーク、協会品質保証システムの認知度アップ

①協会インスタグラムを開設、料理サイト「Nadia」を使用してのレシピコンテストを5月から10月にかけ実施、マイナビウーマン等使っての発信、この施策にて冷凍めんの市販用の増加の定着を図るとともに、RMKマークの認知度、協会の安全、安心への取り組み等をアピール。

②ホームページ、冷凍めんカレンダー掲載新規レシピ12品開発

（２）協会HP施策

1. 冷凍めんカレンダー(2022年)作成とプレゼント企画
2. 「新型コロナウイルス感染症」蔓延に伴い、関連情報等会員への発信強化

③簡単にできる、冷凍めんレシピの追加、充実を行う。

（３）飲食店業界支援特別施策…コロナ禍が収まり、世の中が動き始めた時点、実施

（４）業界紙、関係団体協賛広告等での成果の上がる協会アピール

（５）調査：冷凍麺生産者に対する調査2021年分（市場規模調査）

**３．会員企業からの要望・意見の集約と協会施策への展開**

（１）冷凍めんの表示に関する公正競争規約制定に向けての活動の継続

　＊生めん公正取引協議会との冷凍めんの規約内容協議から開始

（２）賞味期限年月表示推奨の発信

**４．業界全体のレベルアップのための教育・コミュニケーション活動**

（１）勉強会

①2021年後半以降開催に向けての講演内容の精査・検討

＊食品ロス等々、環境問題への具体的取り組み

＊具体的な食品ロス取り組み実施企業事例報告

＊衛生管理、生産関連技術について

＊「改正食品衛生法のへの対応」（ＨＡＣＣＰ以外に必要な内容あり）

（２）セミナー（WEBセミナー）

①2021年6月10日経営者、幹部管理職向け特別セミナー実施

＊講師：岸　博幸氏　慶應義塾大学大学院　メディアデザイン研究科教授

②2021年10月19日全会員向けセミナー実施

＊講師：楠木建氏、一橋大学大学院国際企業戦略研究科教授

(3) 研修旅行2021年度は中止

＊2022年度以降の実施内容の精査・検討を行う

 ＊2023年度北海道農研機構北海道小麦・・・コロナ禍が治まってきたら交渉に入る。



**第5号議案**

**役員改選の件**

**１．改選理由**

　　　＊　所属企業の異動による一部理事改選（交代）

　　**２．理事候補者名（新規）**（役職は2021年5月19日現在）

**吉岡　清史（よしおか　きよし）**

**（テーブルマーク株式会社　代表取締役社長）**

　　　**岩田　功（いわた　いさお）**

**（シマダヤ株式会社　常務取締役　）**

**鳥居　憲夫（とりい　のりお）**

**（全国製麺協同組合連合会会長）**

**上和田　公彦（かみわだ　きみひこ）**

**（日清冷凍株式会社　代表取締役社長）**

**道添　秀樹（みちぞえ　ひでき）**

**（フレッシュ・フードサービス株式会社　取締役社長　6/25付）**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　合計　5名